

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月19日



株式会社 熊谷組



Agenda

1.ハイライトP2
2.受注高① 実績と予想【単体】P3
受注高② 推移【単体】P4
受注高③ 土木(国内)【単体】P5
受注高④ 建築(国内)【単体】P6
3.損益計算書① 実績と予想【単体】P7
損益計算書② 実績と予想【連結】P8
損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳P9
4.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】P10
5.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】P11
6.四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【単体】・【連結】P12
7.販売費及び一般管理費、営業利益および親会社株主に帰属する四半期純利益の推移【連結】P13
8.貸借対照表① 資産【連結】P14
貸借対照表② 負債・純資産【連結】P15
9.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】P16
10.配当金【連結】(通期ベース)P17
11.有利子負債【連結】P18
12.キャッシュ・フロー【連結】P19
13.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】P20
14.住友林業との協業状況P21
15.投資計画の進捗状況P22
16.新型コロナウイルスの感染拡大による影響P23

1.ハイライト

1 受注高減【単体】

1

大型工事の獲得等により下期に受注高を大きく伸ばすも、計画値にはやや届かず
前期に消費税増税前の前倒し発注があったため、対前期比で大きく減少

2 売上高増加。不採算工事の影響で利益率低下【連結】

2

増加していた期首繰越工事高を消化し完成工事高は4期連続増加
不採算工事の発生により利益率が低下し経常利益までは減益
特利計上により最終利益は大幅増益

3 2021.3期見通し

3

新型コロナウイルスの影響により一部不透明感はあるものの、比較的豊富な繰越工事高を消化し売上高、利益ともほぼ横ばいの見通し
配当は安定配当の観点から当期の120円を据え置き

2.受注高① 実績と予想【単体】

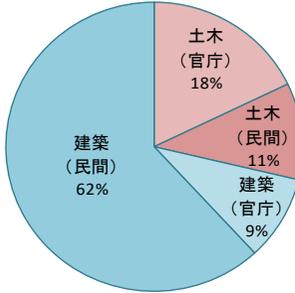
【単体】

(単位: 億円)

(国内受注高官民構成)

	A.2019/3期 通期 実績	B.2020/3期 通期 期首計画	C.2020/3期 通期 実績	C-A		C-B		
				増減	増減率	増減	増減率	
国内	官庁	455	630	575	120	26.4%	▲ 55	-8.7%
	民間	1,102	470	348	▲ 754	-68.4%	▲ 122	-25.9%
	土木	1,558	1,100	924	▲ 634	-40.7%	▲ 176	-16.0%
	官庁	312	300	305	▲ 7	-2.4%	5	1.6%
	民間	2,669	2,100	1,992	▲ 677	-25.4%	▲ 108	-5.1%
	建築	2,981	2,400	2,297	▲ 684	-23.0%	▲ 103	-4.3%
	4,539	3,500	3,221	▲ 1,318	-29.0%	▲ 279	-8.0%	
海外	1	100	29	28	-	▲ 71	-71.0%	
受注高	4,540	3,600	3,250	▲ 1,290	-28.4%	▲ 350	-9.7%	

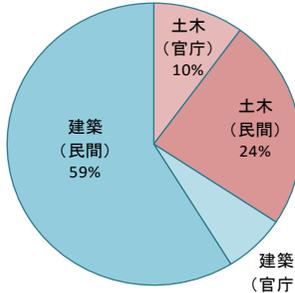
D.2021/3期 通期 計画	D-C	
	増減	増減率
650	75	13.0%
400	52	14.8%
1,050	126	13.7%
400	95	31.2%
1,500	▲ 492	-24.7%
1,900	▲ 397	-17.3%
2,950	▲ 271	-8.4%
60	31	107.1%
3,010	▲ 240	-7.4%



2020/3期
実績

【当期に受注した主な工事】

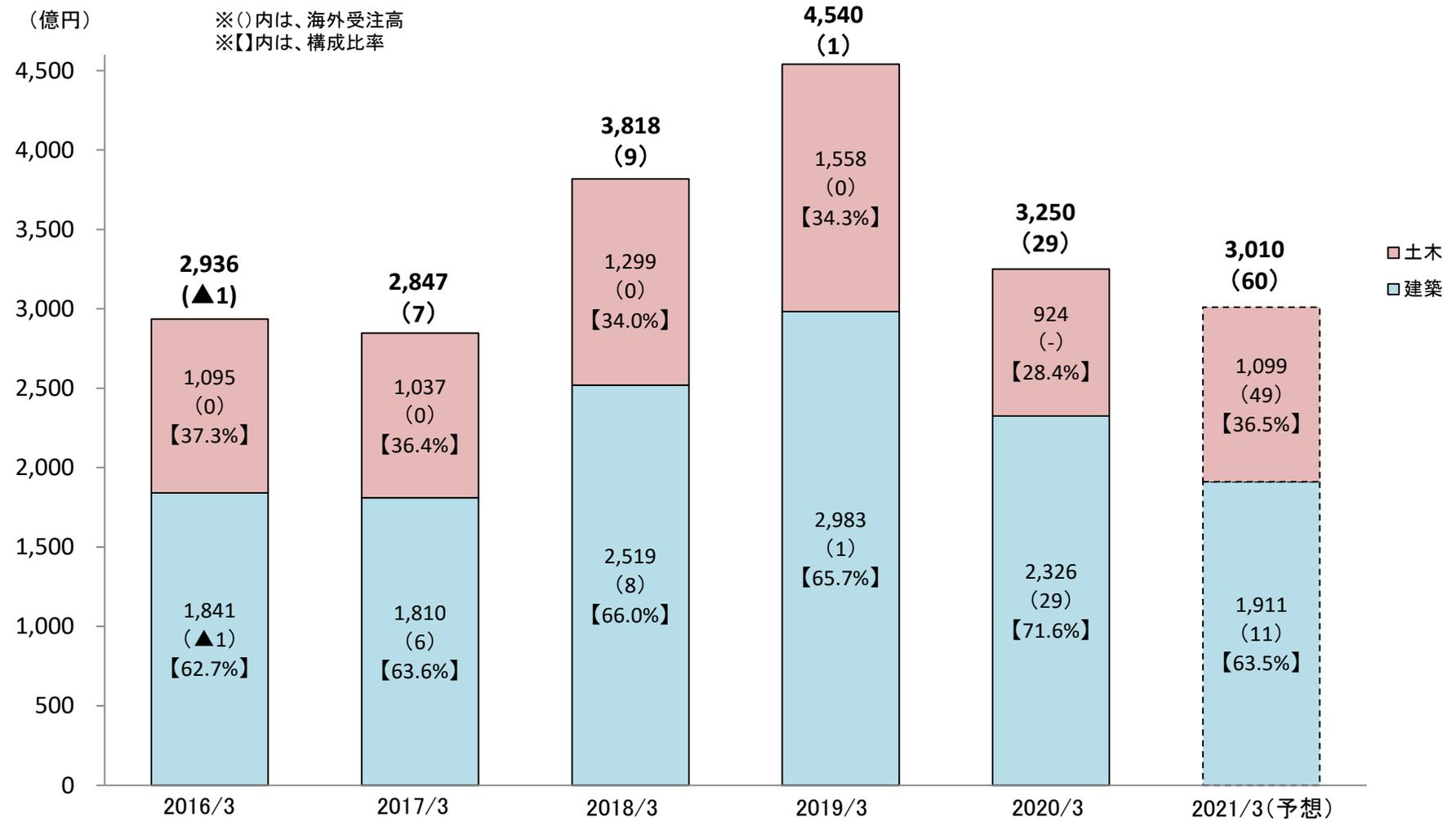
土建	官民	発注者	工事名	所在地	完成時期
土木	官庁	大阪市	淀川左岸線(2期)トンネル整備事業-2	大阪府	2025/3
土木	官庁	農林水産省	信濃川左岸流域農業水利事業 1号幹線用水路1号トンネル建設工事	新潟県	2023/11
土木	民間	東京電力パワーグリッド株式会社	北多摩府中洞道新設工事	東京都	2023/6
土木	官庁	西日本高速道路株式会社	新名神高速道路 田上羽栗森工事	滋賀県	2023/5
建築	民間	住友商事株式会社	(仮称)レンゴー淀川工場跡地開発計画新築工事	大阪府	2021/5
建築	民間	野村不動産株式会社	(仮称)阪急塚口駅前代替計画新築工事	兵庫県	2022/6
建築	民間	医療法人徳洲会	医療法人徳洲会鹿児島徳洲会病院移転新築工事	鹿児島県	2021/10
建築	官庁	金シャチ名古屋競馬場PFI株式会社	名古屋競馬場移転整備等事業	愛知県	2022/3



2019/3期
実績

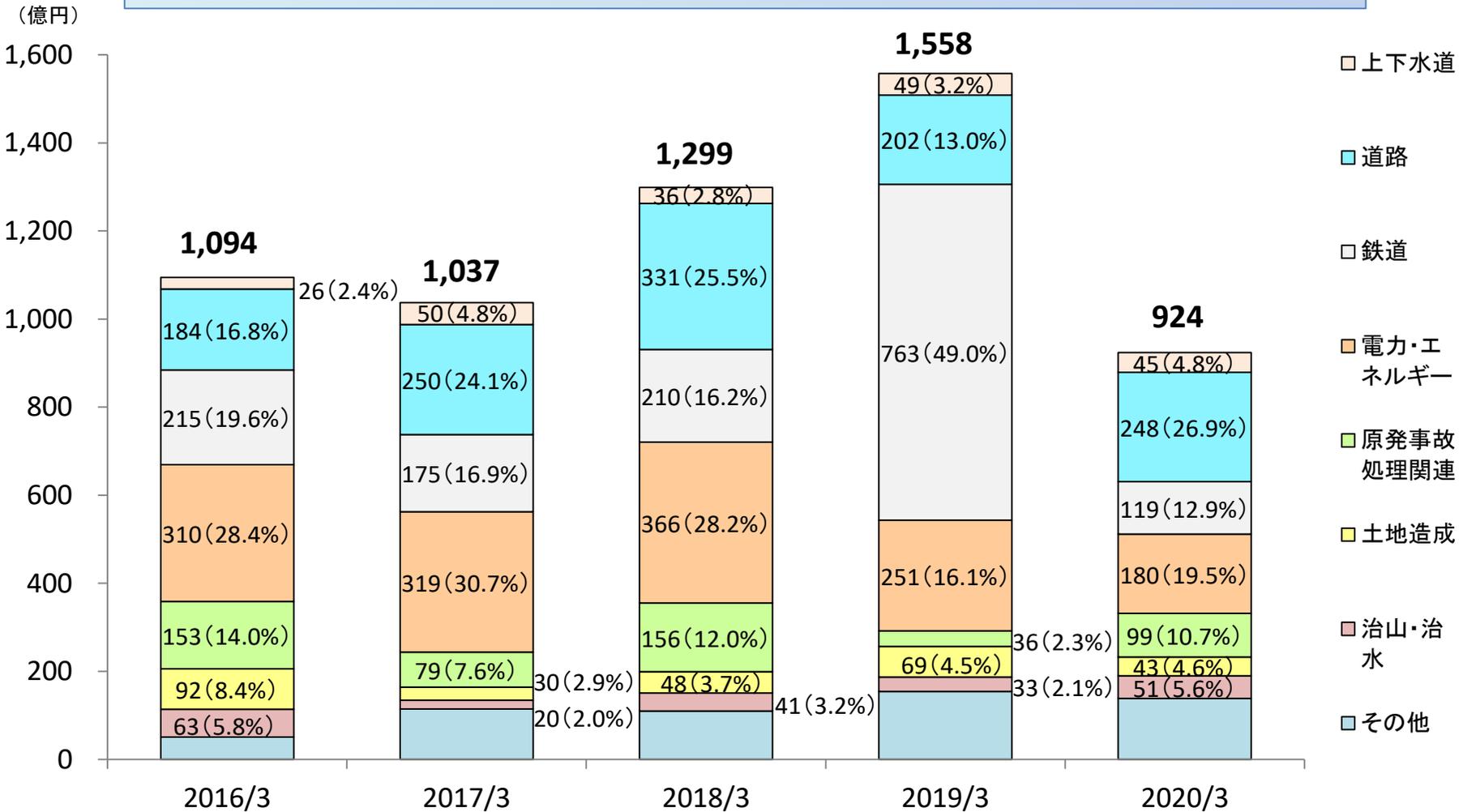
2.受注高② 推移【単体】

- 下期で受注高を大きく伸ばすも、計画値にはやや届かず
- 2021年3月期は、新型コロナウイルスの影響もあり減少見通し



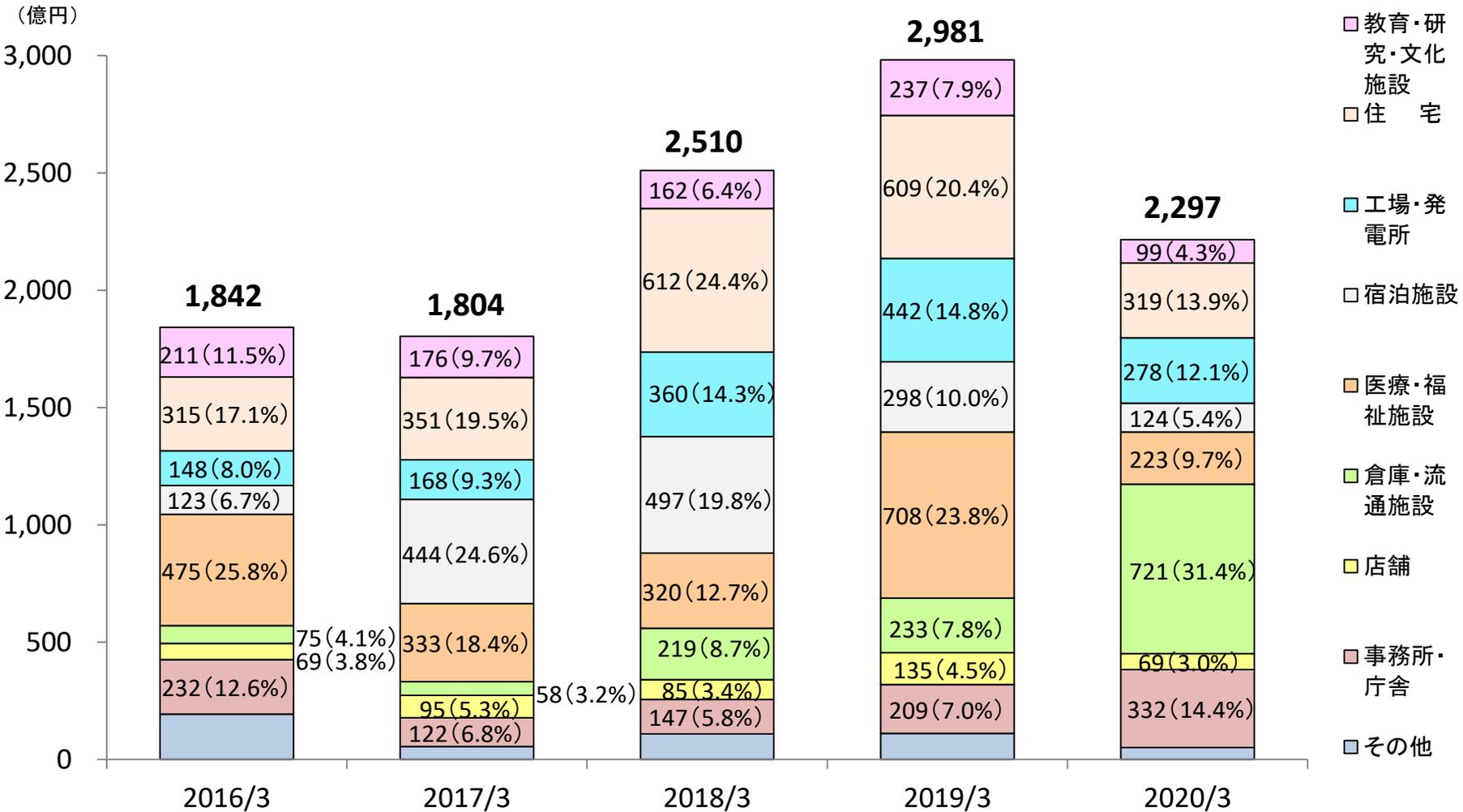
2.受注高③ 土木(国内)【単体】

- 前期大型工事を受注した影響で鉄道分野が反動減
- 発注時期が翌期に期ズレとなった案件の影響もあり計画値を下回る



2.受注高④ 建築(国内)【単体】

- ・医療・福祉施設、住宅が反動減となる一方、倉庫・流通施設が伸びる
- ・下期に大型案件の獲得もあり、計画値でほぼ着地



3.損益計算書① 実績と予想【単体】

【単体】

(単位:億円)

		A.2019/3期		B.2020/3期		C.2020/3期		C-A		C-B		D.2021/3期		D-C					
		通期	実績	通期	期首計画	通期	実績	増減	増減率	利益率	増減	増減率	利益率	増減	増減率	利益率			
国内	土木	1,116		1,150		1,222		106	9.5%		72	6.3%	1,150	▲ 72	-5.9%				
	建築	1,950		2,260		2,295		345	17.7%		35	1.5%	2,290	▲ 5	-0.2%				
		3,067		3,410		3,517		451	14.7%		107	3.1%	3,440	▲ 77	-2.2%				
海外		4		10		5		1	18.6%		▲ 5	-50.7%	20	15	306.0%				
完成工事高		3,071		3,420		3,522		451	14.7%		102	3.0%	3,460	▲ 62	-1.8%				
国内	土木	140	12.5%	139	12.1%	133	10.9%	▲ 7	-1.6%		▲ 6	-1.2%	125	10.9%	▲ 8	0.0%			
	建築	213	10.9%	244	10.8%	219	9.5%	5	-1.4%		▲ 25	-1.3%	227	9.9%	8	0.4%			
		353	11.5%	383	11.2%	352	10.0%	▲ 1	-1.5%		▲ 31	-1.2%	352	10.2%	0	0.2%			
海外		1	20.4%	1	10.0%	1	26.0%	0	5.6%		0	16.0%	1	5.0%	▲ 0	-21.0%			
完成工事総利益		354	11.5%	384	11.2%	353	10.0%	▲ 1	-0.2%	-1.5%	▲ 31	-8.0%	-1.2%	353	10.2%	▲ 0	-0.0%	0.2%	
一般管理費																			
		人件費	69		73		73		4			▲ 0		74		1			
		物件費	74		81		78		4			▲ 3		76		▲ 2			
一般管理費		143		154		151		7			▲ 3		150		▲ 1				
営業利益		211	6.9%	230	6.7%	202	5.7%	▲ 8	-3.9%	-1.2%	▲ 28	-12.0%	-1.0%	203	5.9%	1	0.3%	0.2%	
営業外収益		12		8		8		▲ 4			0		14		6				
営業外費用		5		4		4		▲ 1			0		3		▲ 1				
経常利益		218	7.1%	234	6.8%	207	5.9%	▲ 11	-5.0%	-1.2%	▲ 27	-11.6%	-0.9%	214	6.2%	7	3.4%	0.3%	
特別利益		0		0		7		7			7		0		▲ 7				
特別損失		16		0		6		▲ 10			6		0		▲ 6				
税引前当期純利益		202		234		209		7	3.3%		▲ 25	-10.9%		214		5	2.6%		
法人税、住民税及び事業税		57		56		45		▲ 12			▲ 11		45		0				
法人税等調整額		3		18		16		12			▲ 2		21		5				
当期純利益		142	4.6%	160	4.7%	148	4.2%	7	4.7%	-0.4%	▲ 12	-7.4%	-0.5%	148	4.3%	▲ 0	-0.2%	0.1%	

3.損益計算書② 実績と予想【連結】

【連結】

(単位:億円)

	A.2019/3期			B.2020/3期			C.2020/3期			C-A				C-B				D.2021/3期			D-C			
	通期 実績			通期 期首計画			通期 実績			増減			増減率	増減			増減率	通期計画			増減			増減率
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等		連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	
完成工事高	3,891	3,071	820	4,260	3,420	840	4,362	3,522	839	471	451	20	12.1%	102	102	▲1	2.4%	4,380	3,460	920	18	▲62	81	0.4%
完成工事総利益	455	354	101	484	384	100	455	353	102	▲0	▲1	1		▲29	▲31	2		456	353	103	1	▲0	1	
(利益率)	11.7%	11.5%	12.4%	11.4%	11.2%	11.9%	10.4%	10.0%	12.1%	-1.3%	-1.5%	-0.3%		-1.0%	-1.2%	0.2%		10.4%	10.2%	11.2%	0.0%	0.2%	-0.9%	
一般管理費	191	143	47	204	154	50	201	151	50	10	7	2		▲3	▲3	▲0		201	150	51	0	▲1	1	
営業利益	265	211	54	280	230	50	254	202	52	▲10	▲8	▲2	-3.9%	▲26	▲28	2	-9.1%	255	203	52	1	1	▲0	0.2%
(利益率)	6.8%	6.9%	6.6%	6.6%	6.7%	6.0%	5.8%	5.7%	6.2%	-1.0%	-1.2%	-0.4%		-0.8%	-1.0%	0.2%		5.8%	5.9%	5.6%	0.0%	0.2%	-0.6%	
営業外収益	6	12	▲6	5	8	▲3	7	8	▲1	1	▲4	4		2	0	2		6	14	▲8	▲1	6	▲7	
営業外費用	5	5	0	5	4	1	4	4	0	▲1	▲1	▲0		▲1	0	▲1		3	3	▲0	▲1	▲1	▲0	
経常利益	266	218	48	280	234	46	257	207	50	▲8	▲11	3	-3.1%	▲23	▲27	4	-8.1%	258	214	44	1	7	▲6	0.3%
(利益率)	6.8%	7.1%	5.8%	6.6%	6.8%	5.5%	5.9%	5.9%	6.0%	-0.9%	-1.2%	0.2%		-0.7%	-0.9%	0.5%		5.9%	6.2%	4.8%	0.0%	0.3%	-1.2%	
特別利益	1	0	1	0	0	0	21	7	13	20	7	12		21	7	13		0	0	0	▲21	▲7	▲13	
特別損失	56	16	40	0	0	0	7	6	2	▲48	▲10	▲38		7	6	2		0	0	0	▲7	▲6	▲2	
税金等調整前当期純利益	211	202	9	280	234	46	271	209	62	60	7	53	28.3%	▲9	▲25	16	-3.3%	258	214	44	▲13	5	▲18	-4.7%
法人税、住民税及び事業税	73	57	16	71	56	15	62	45	17	▲12	▲12	1		▲9	▲11	2		61	45	16	▲1	0	▲1	
法人税等調整額	5	3	1	19	18	1	14	16	▲1	10	12	▲3		▲5	▲2	▲2		22	21	1	8	5	2	
親会社株主に帰属する当期純利益	133	142	▲8	190	160	30	194	148	46	61	7	55	46.1%	4	▲12	16	2.4%	175	148	27	▲19	▲0	▲19	-10.0%
(利益率)	3.4%	4.6%	-1.0%	4.5%	4.7%	3.6%	4.5%	4.2%	5.5%	1.1%	-0.4%	6.5%		0.0%	-0.5%	1.9%		4.0%	4.3%	2.9%	-0.5%	0.1%	-2.6%	

【連結子会社 7社】

(株)カリアート、テクノス(株)、ケーアンドイー(株)、(株)ファテック、テクノスペース・クリエイツ(株)、(株)テクニカルサポート、華熊營造股份有限公司(台湾)

【持分法適用会社 3社】

笹島建設(株)、共栄機械工事(株)、(株)前田工務店

3.損益計算書③ 営業外損益および特別損益の内訳

営業外損益の状況(連結)

(単位:億円)

	A.2019/3期 通期 実績			B.2020/3期 通期 実績			B-A 増減		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
受取利息配当金	4	10	▲ 7	4	7	▲ 3	0	▲ 4	4
持分法による投資利益	2	-	2	2	-	2	0	-	0
その他	1	2	▲ 1	1	2	▲ 0	0	0	0
営業外収益 計	6	12	▲ 6	7	8	▲ 1	1	▲ 4	4
支払利息	2	2	0	2	2	0	▲ 0	▲ 0	▲ 0
シンジケートローン手数料	2	2	-	0	0	-	▲ 2	▲ 2	-
資本業務提携関連費用	0	0	-	0	0	-	-	-	-
その他	1	1	0	2	1	0	1	1	▲ 0
営業外費用 計	5	5	0	4	4	0	▲ 1	▲ 1	▲ 0

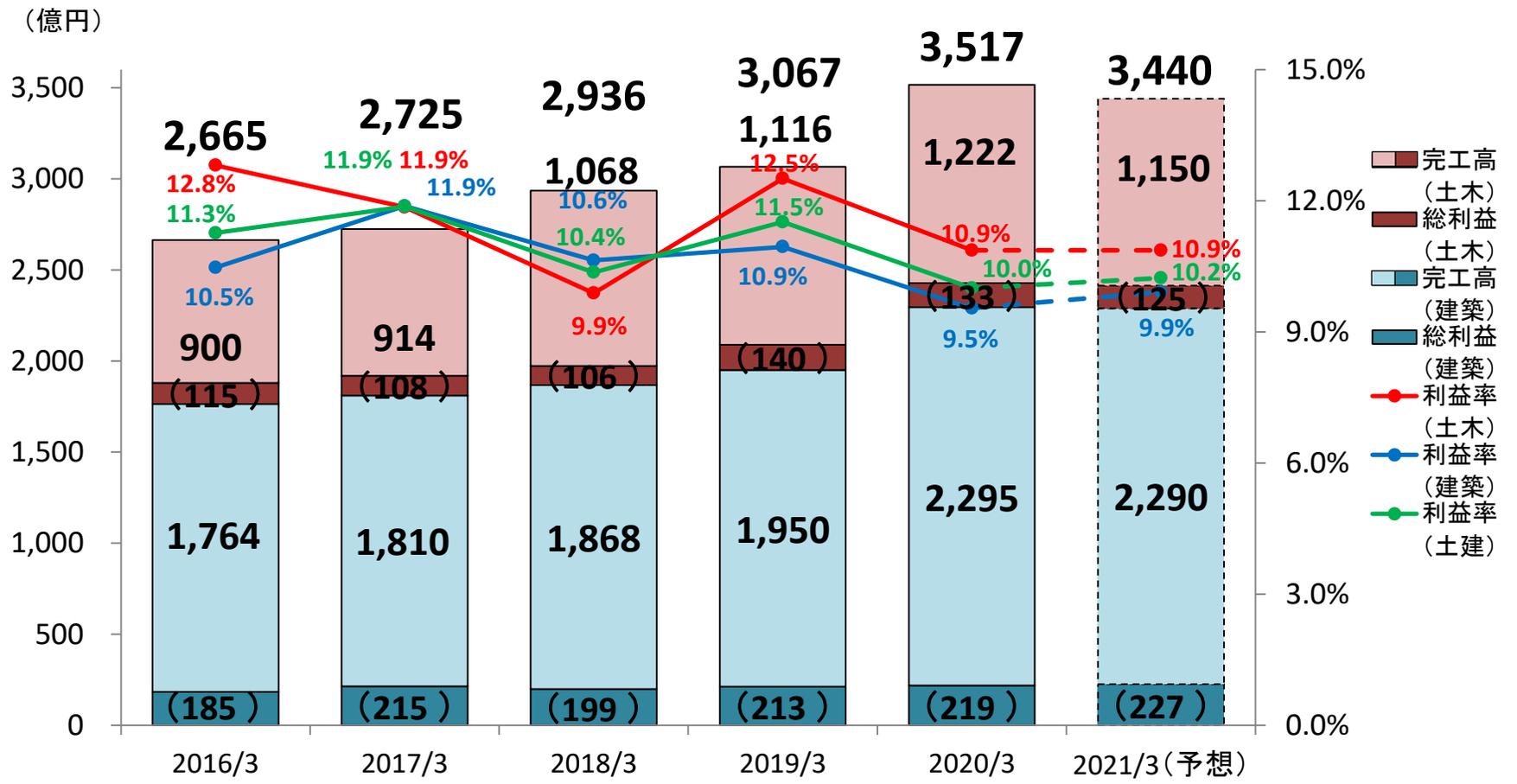
特別損益の状況(連結)

(単位:億円)

	A.2019/3期 通期 実績			B.2020/3期 通期 実績			B-A 増減		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
会員権売却益	0	0	-	7	7	-	7	7	-
独占禁止法関連損失引当金戻入額	-	-	-	13	-	13	13	-	13
その他	1	0	1	0	-	0	▲ 1	▲ 0	▲ 1
特別利益 計	1	0	1	21	7	13	20	7	12
損害賠償金	1	1	-	1	1	-	1	1	-
投資有価証券評価損	-	-	-	1	1	0	1	1	0
偶発損失引当金繰入額	13	13	-	3	3	-	▲ 11	▲ 11	-
独占禁止法関連損失引当金繰入額	39	-	39	-	-	-	▲ 39	-	▲ 39
その他	2	2	0	2	0	2	▲ 0	▲ 1	1
特別損失 計	56	16	40	7	6	2	▲ 48	▲ 10	▲ 38

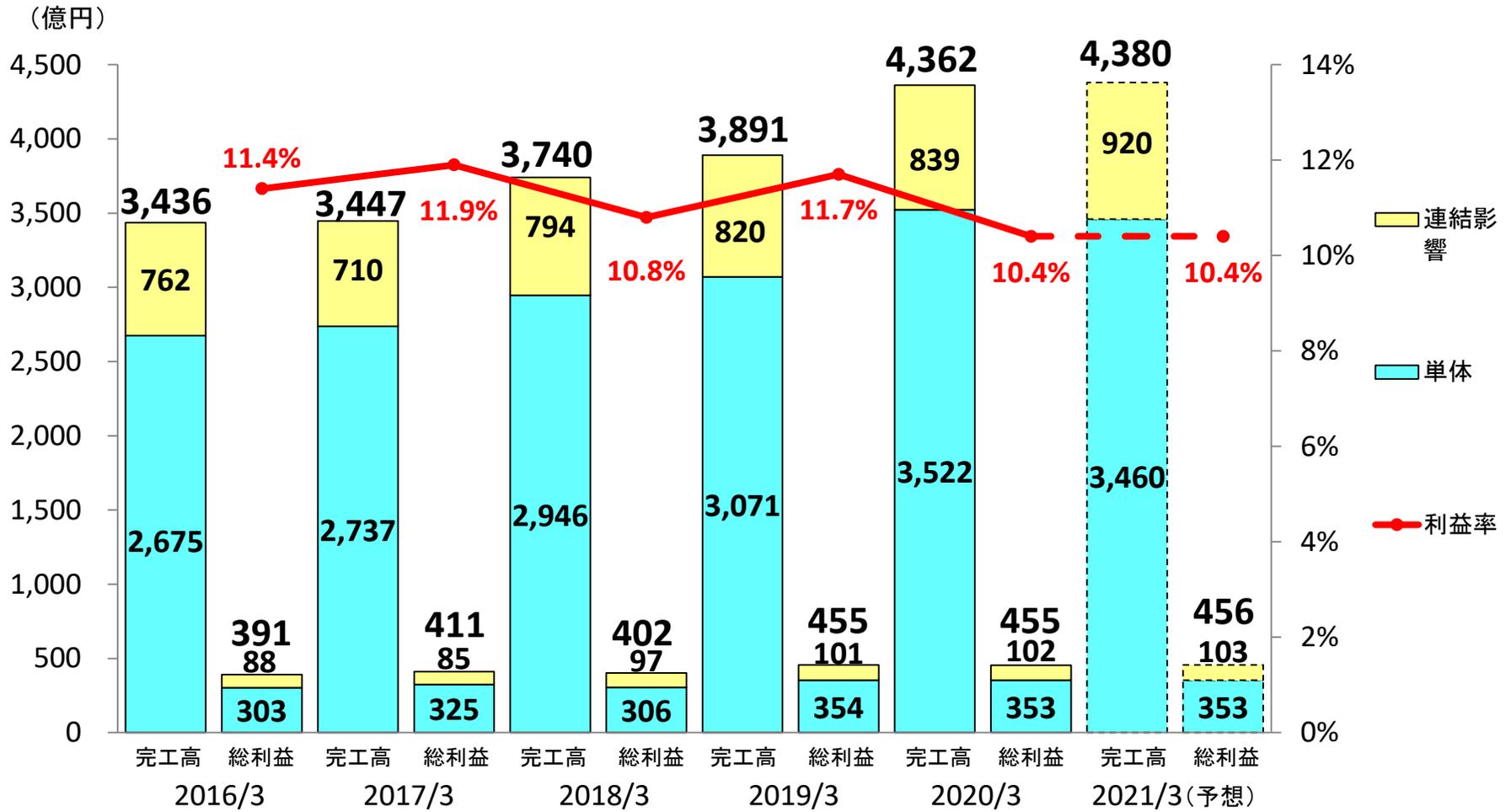
4.完成工事高および完成工事総利益(率)(国内)【単体】

- 土木、建築ともに増加していた期首繰越工事の消化が進み、完成工事高は前期から増加
- 土木、建築ともに不採算、低採算工事の発生により利益率が低下
- 2021年3期は土木、建築ともに当期とほぼ同水準の見通し



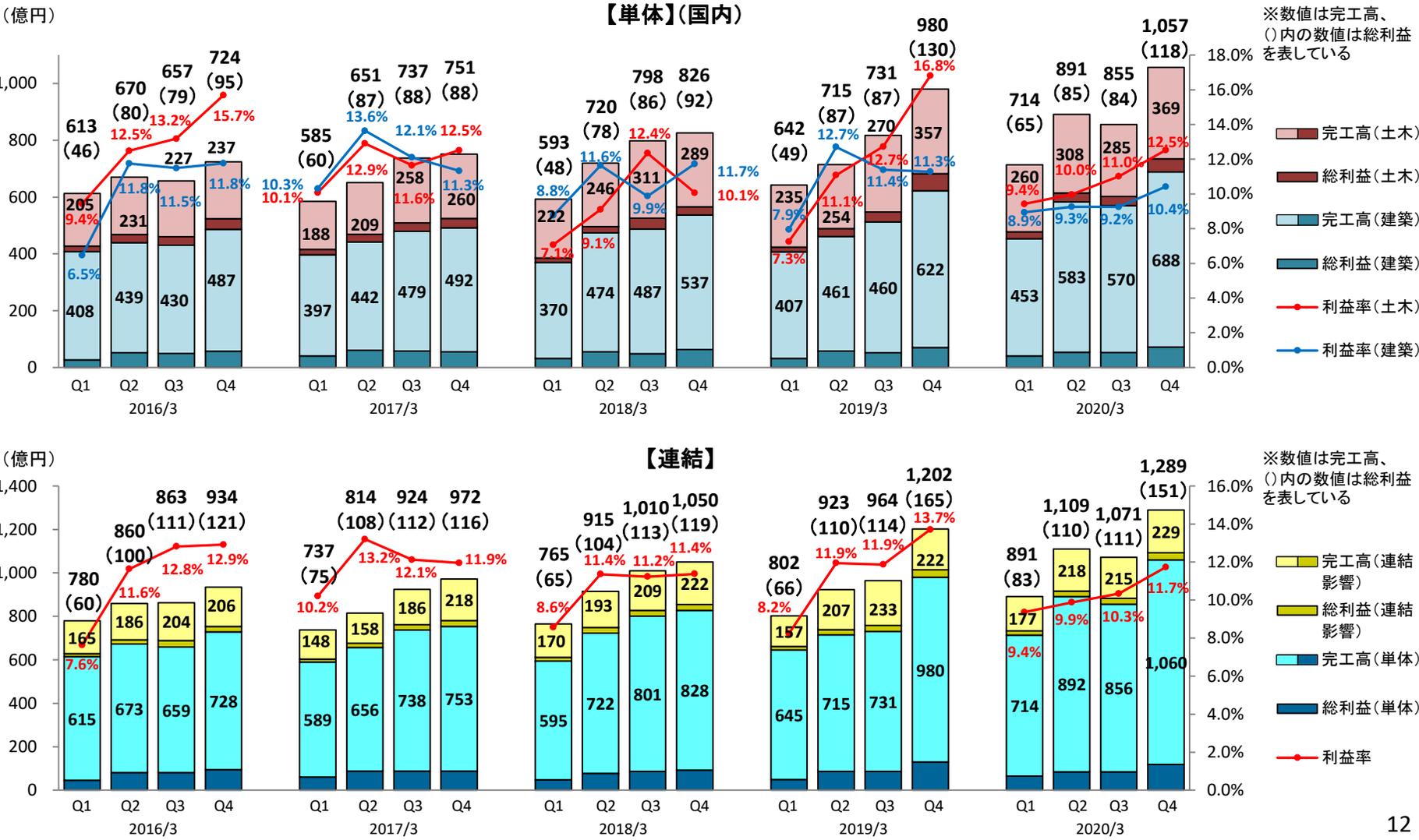
5.完成工事高および完成工事総利益(率)【連結】

- 単体、子会社ともに順調に推移し完成工事高は前期から増加
- 単体影響で利益率は低下しものの、増収により利益額は横ばい
- 2021年3月期は当期とほぼ同水準の見通し

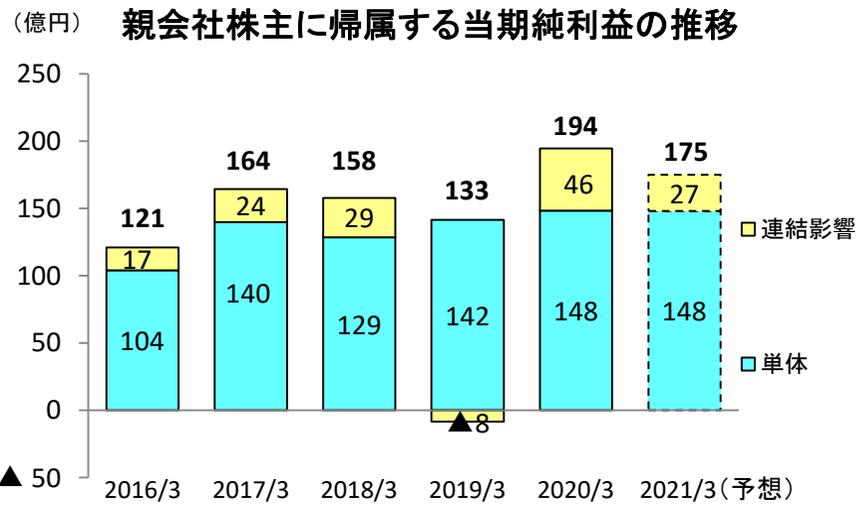
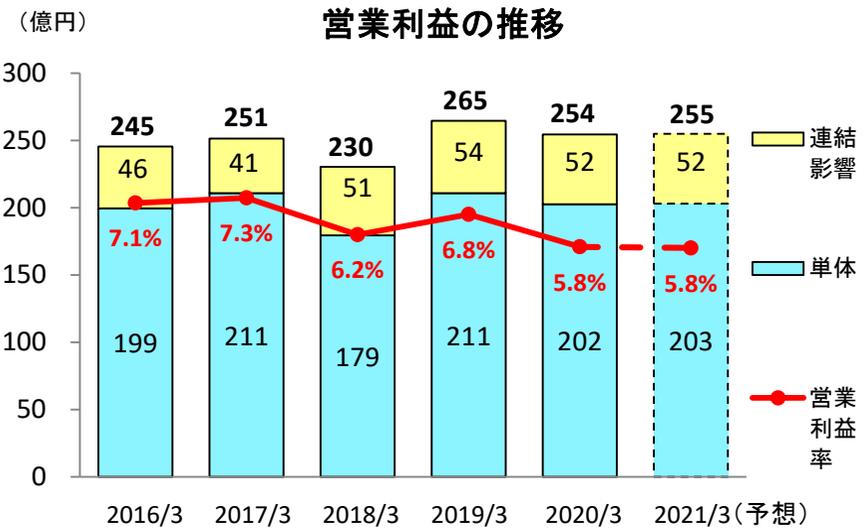
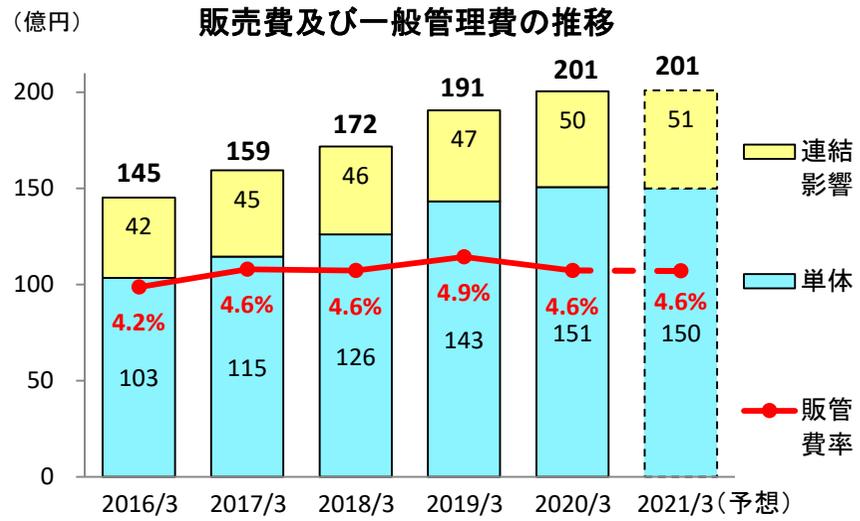


6. 四半期毎の完成工事高および完成工事総利益(率)の推移【単体】・【連結】

・ 単体、連結ともに第4四半期で完成工事高および総利益を伸ばす



7.販売費及び一般管理費、営業利益および親会社株主に帰属する当期純利益の推移【連結】



8.貸借対照表① 資産【連結】

【連結貸借対照表】(資産)

(単位:億円)

	A.2019/3期			B.2020/3期			B-A		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
現金預金	824	630	194	752	544	207	▲ 73	▲ 86	13
受取手形・完成工事未収入金等	1,757	1,491	266	1,906	1,620	286	149	129	21
未成工事支出金	73	59	14	79	67	12	6	7	▲ 2
未収入金	157	169	▲ 12	298	311	▲ 13	141	143	▲ 1
その他	70	63	7	74	83	▲ 9	4	20	▲ 16
貸倒引当金	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 0	▲ 0	0
流動資産合計	2,879	2,411	468	3,107	2,624	483	227	213	15
建物及び構築物	67	30	38	75	37	38	7	7	▲ 0
土地	146	117	29	148	118	30	2	2	0
その他	35	16	19	31	10	21	▲ 4	▲ 7	2
有形固定資産合計	248	163	86	253	165	88	5	3	2
無形固定資産合計	5	3	1	5	4	1	1	1	▲ 0
投資有価証券・関係会社株式	244	262	▲ 18	229	267	▲ 38	▲ 16	5	▲ 21
その他	161	110	51	156	97	59	▲ 5	▲ 13	7
貸倒引当金	▲ 2	▲ 0	▲ 2	▲ 2	▲ 0	▲ 2	▲ 0	0	▲ 0
投資等合計	404	372	32	383	364	18	▲ 21	▲ 8	▲ 14
固定資産合計	657	538	119	641	534	108	▲ 15	▲ 4	▲ 12
株式交付費	1	1	-	0	0	-	▲ 0	▲ 0	-
繰延資産合計	1	1	-	0	0	-	▲ 0	▲ 0	-
資産合計	3,537	2,950	588	3,748	3,158	591	211	208	3

8.貸借対照表② 負債・純資産【連結】

【連結貸借対照表】(負債・純資産)

(単位:億円)

	A.2019/3期			B.2020/3期			B-A		
	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等	連結	単体	子会社等
支払手形・工事未払金・電子記録債務	1,201	997	204	1,261	1,081	180	60	84	▲ 24
短期借入金	30	28	2	41	39	2	10	10	▲ 0
未払法人税等	48	45	3	31	27	4	▲ 17	▲ 18	1
未成工事受入金	147	135	13	199	174	25	52	40	12
預り金	194	178	16	295	275	20	101	97	4
偶発損失引当金	107	107	0	76	76	0	▲ 31	▲ 31	▲ 0
独占禁止法関連損失引当金	39	-	39	-	-	-	▲ 39	-	▲ 39
賞与引当金	39	26	13	37	22	15	▲ 2	▲ 5	2
その他	105	92	13	76	64	13	▲ 29	▲ 28	▲ 0
流動負債合計	1,911	1,608	304	2,016	1,757	259	104	150	▲ 45
長期借入金	98	98	0	82	82	0	▲ 16	▲ 16	▲ 0
退職給付に係る負債/退職給付引当金	165	132	33	164	132	32	▲ 1	0	▲ 1
その他	14	12	2	6	2	4	▲ 8	▲ 10	2
固定負債合計	277	242	35	252	216	36	▲ 25	▲ 26	1
負債合計	2,188	1,850	339	2,268	1,973	295	80	124	▲ 44
株主資本	1,325	1,075	250	1,472	1,176	296	147	101	46
その他の包括利益累計額	24	24	▲ 0	8	8	0	▲ 16	▲ 17	1
純資産合計	1,349	1,100	249	1,480	1,184	296	132	85	47
負債及び純資産合計	3,537	2,950	588	3,748	3,158	591	211	208	3
(自己資本比率)	38.1%	37.3%	42.4%	39.5%	37.5%	50.1%	+1.4%	+0.2%	+7.7%

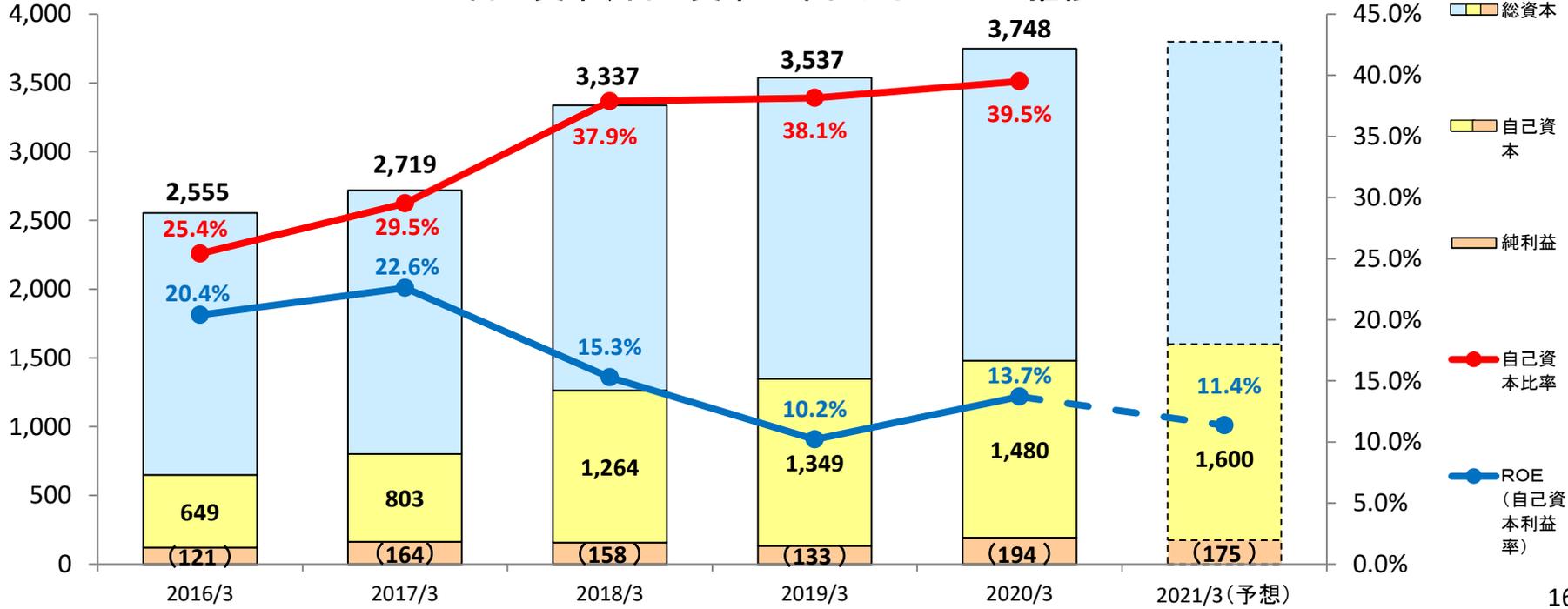
9.自己資本、自己資本比率およびROE【連結】

- 利益の積み上げにより、自己資本比率は40%に近づく
- ROEは10%以上を常にキープ

自己資本、自己資本比率およびROEの状況 (単位: 億円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3(予想)
自己資本	649	803	1,264	1,349	1,480	1,600
総資本	2,555	2,719	3,337	3,537	3,748	-
自己資本比率	25.4%	29.5%	37.9%	38.1%	39.5%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	121	164	158	133	194	175
ROE(自己資本利益率)	20.4%	22.6%	15.3%	10.2%	13.7%	11.4%

(億円) 自己資本、自己資本比率およびROEの推移



10. 配当金【連結】

- 当期は20円増配し、配当金総額は50億円を超える
- 2021年3月期は120円を据え置き、配当性向は30%を超える

配当金の状況

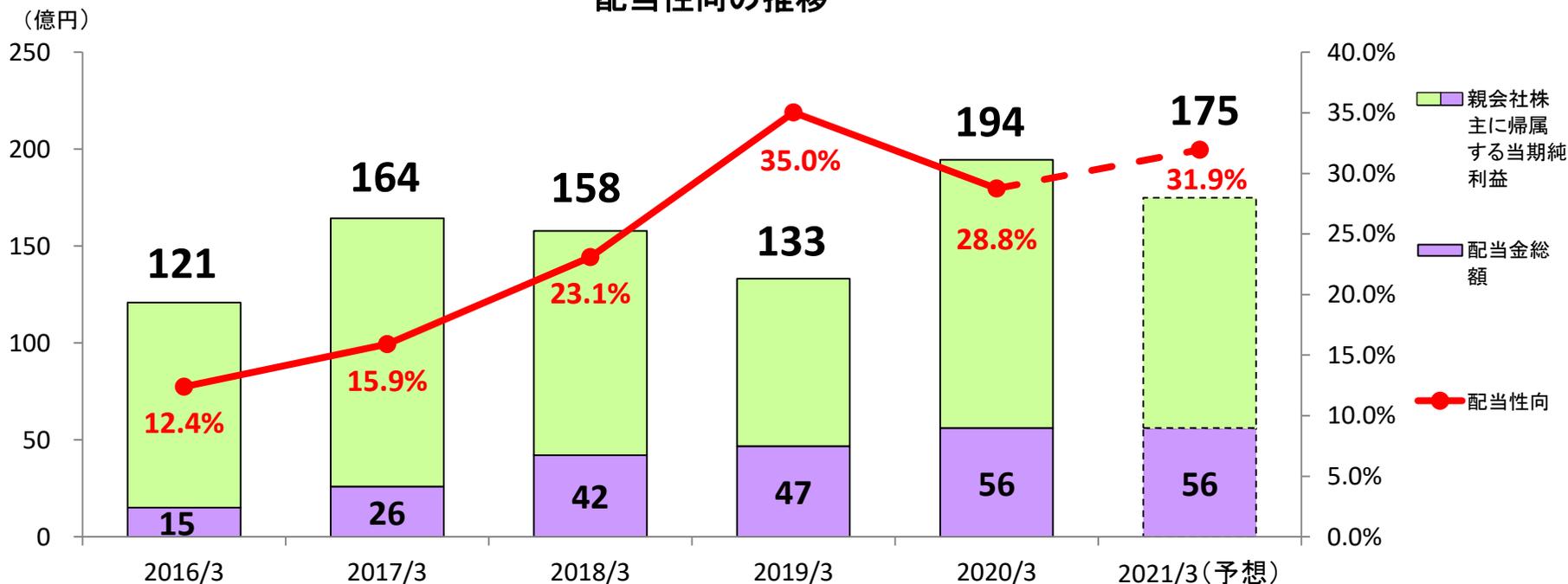
(単位: 億円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3	2021/3(予想)
発行済株式数	377,544,607株	377,544,607株	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株	46,805,660株
自己株式数	▲2,794,454株	▲3,097,013株	▲22,471株	▲36,826株	▲45,563株	▲45,563株
1株当たり配当額	4.00円	7.00円	90.00円	100.00円	120.00円	120.00円
配当金総額	15	26	42	47	56	56
親会社株主に帰属する当期純利益	121	164	158	133	194	175
1株当たり当期純利益	32.36円	43.99円	389.63円	285.49円	417.35円	375.60円
配当性向	12.4%	15.9%	23.1%	35.0%	28.8%	31.9%

※1 2017年10月1日に普通株式10株につき1株の割合で併合しております。

※2 配当性向は、「1株当たり配当額÷1株当たり当期純利益」で算出しております。

配当性向の推移



11.有利子負債【連結】

- 自己資本の増加および有利子負債の圧縮によりD/Eレシオ低下

有利子負債の推移

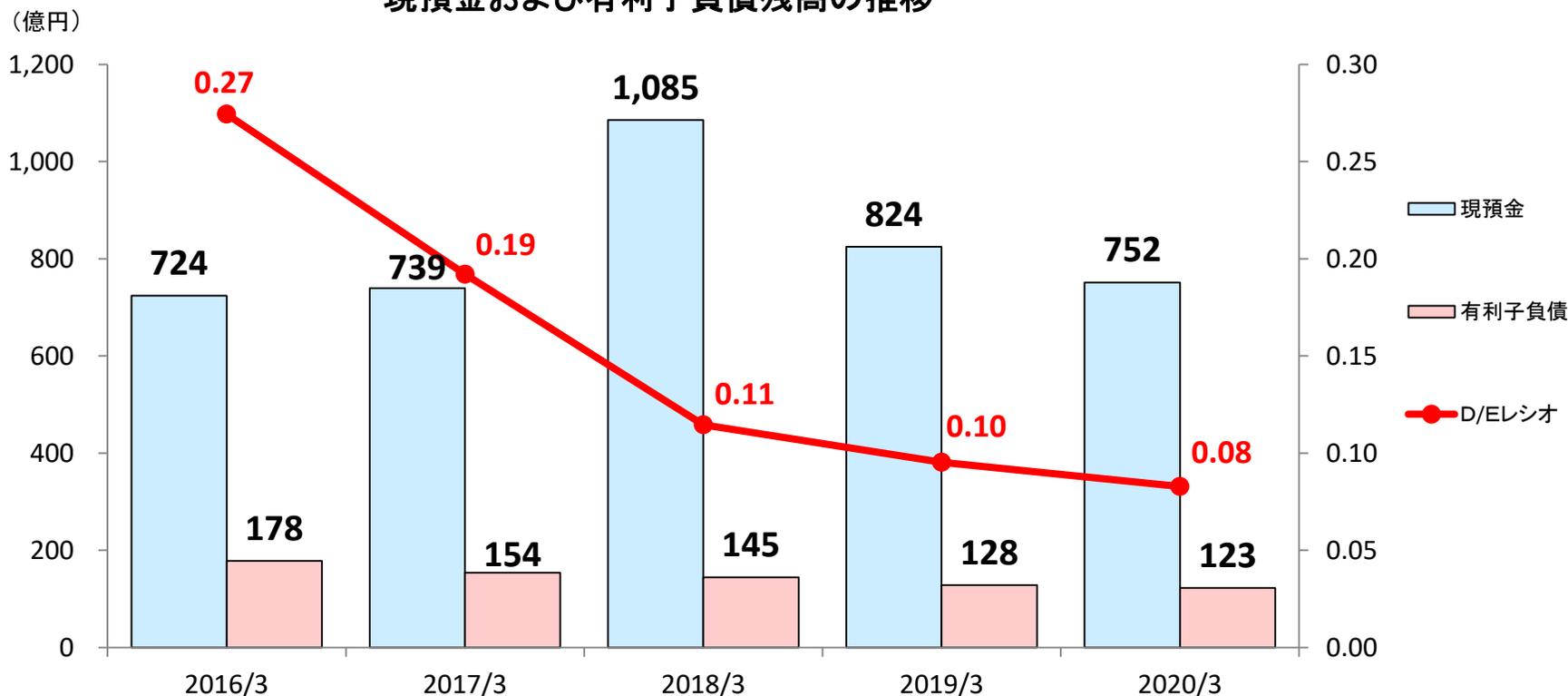
(単位:億円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
有利子負債残高	178	154	145	128	123
D/Eレシオ	0.27	0.19	0.11	0.10	0.08

※D/Eレシオ

有利子負債÷自己資本
企業の財務健全性を見る指標のひとつであり、数値が低いほど財務内容が安定している。

現預金および有利子負債残高の推移



12. キャッシュ・フロー【連結】

- ・ 売上債権の増加および法人税等の支払いにより営業活動によるCFは3億円のプラスに留まる

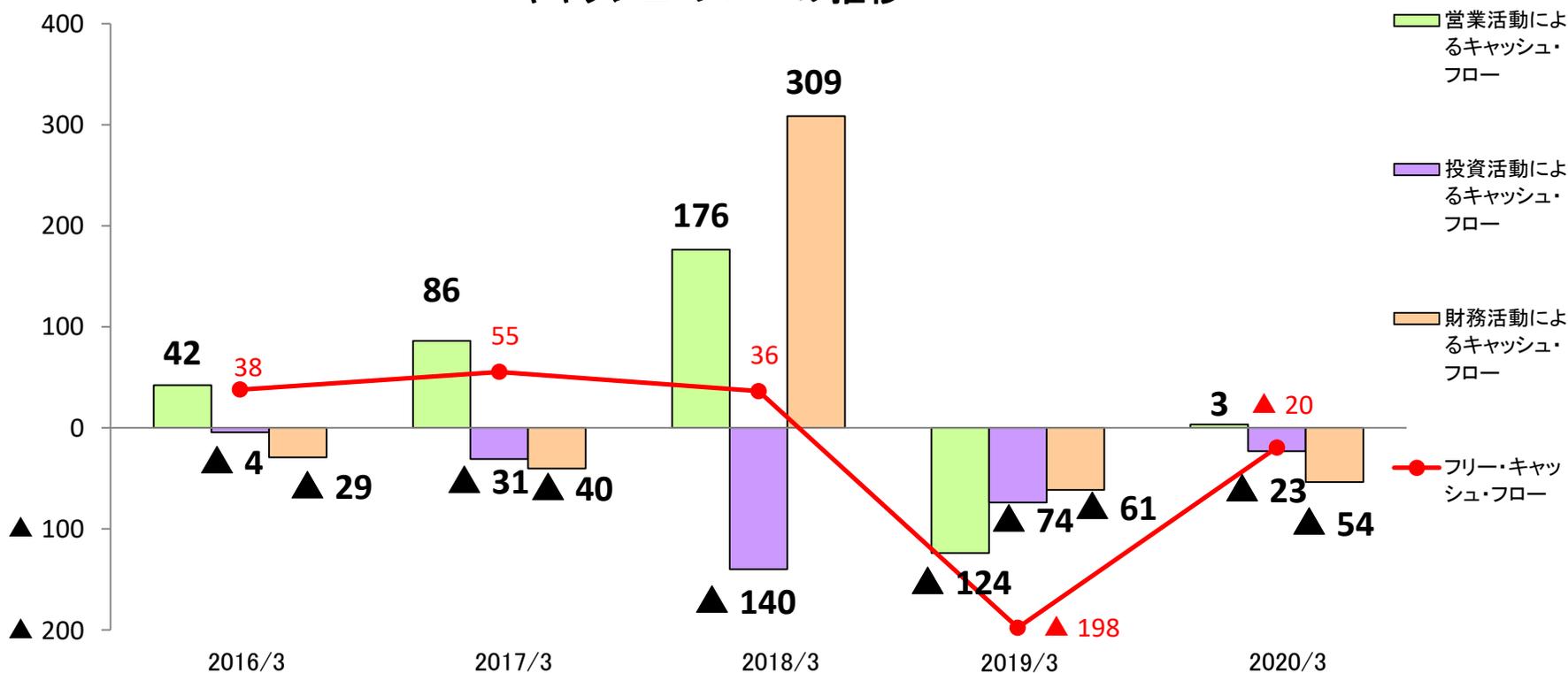
キャッシュ・フロー

(単位: 億円)

	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	42	86	176	▲ 124	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4	▲ 31	▲ 140	▲ 74	▲ 23
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 29	▲ 40	309	▲ 61	▲ 54

(億円)

キャッシュ・フローの推移



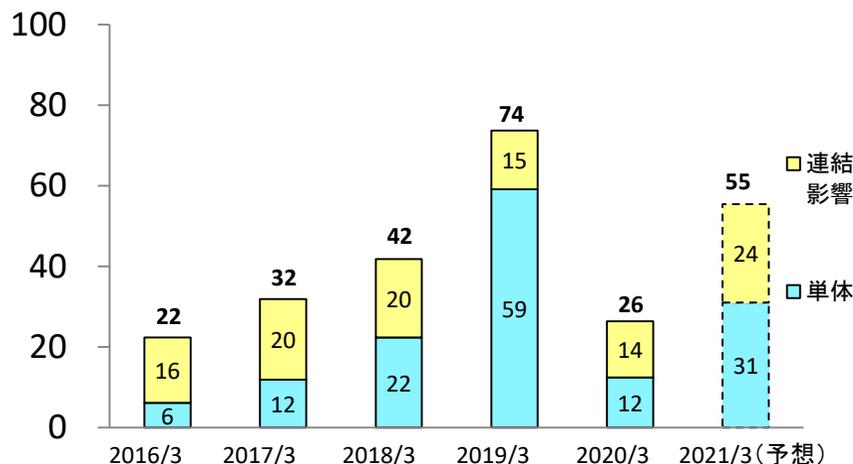
13.設備投資、減価償却費、研究開発費の推移【連結】

設備投資等の状況(連結)

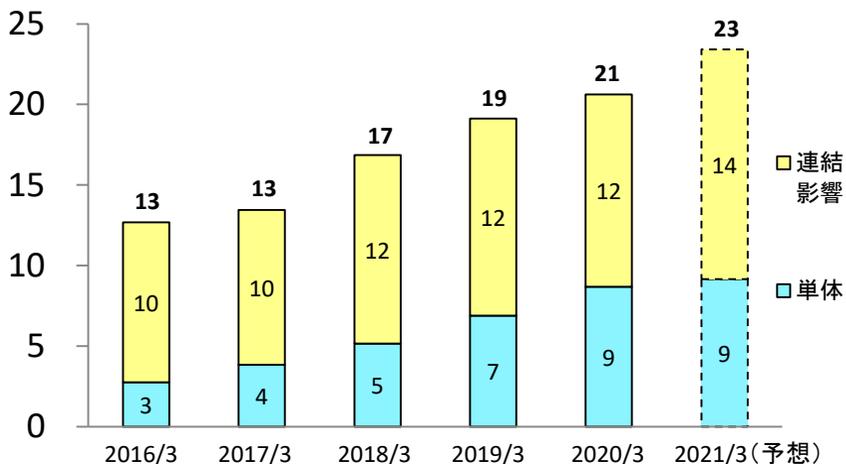
(単位:億円)

	2016/3	2017/3	2018/3
設備投資	22	32	42
減価償却費	13	13	17
研究開発費	15	18	20
	2019/3	2020/3	2021/3(予想)
設備投資	74	26	55
減価償却費	19	21	23
研究開発費	23	26	26

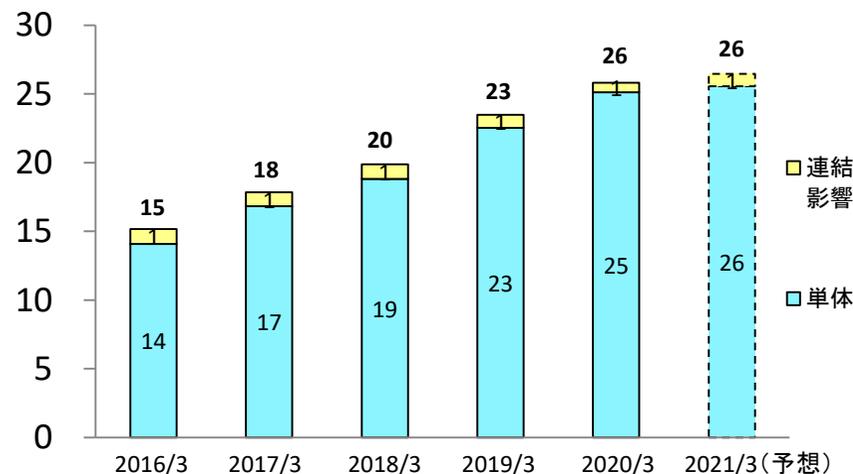
(億円) 設備投資の推移



(億円) 減価償却費の推移



(億円) 研究開発費の推移



14.住友林業との協業状況

・海外プロジェクトが始動するなど各分野で協業を推進中

協業分野

現況(～2020.3)

当面の目標(2020.4～)

木化・緑化関連建設事業

- 中大規模木造建築案件を共同企業体にて受注
 - 木質内装空間の提案による大型案件の受注
 - 中大規模木造建築の具体的案件が進展中
 - リノベーション案件も複数件受注
 - PRイベントを全国で共同開催
- etc

- 中大規模木造建築案件の受注
 - 大型リノベーション案件の受注
 - 環境不動産への取組・受注拡大
- etc

再生可能エネルギー事業

- 木質バイオマス発電の事業化を推進中
 - 風力発電事業等その他の再生可能エネルギー事業案件にも取組中
- etc

- バイオマス発電の共同事業化開始
 - その他の再生可能エネルギー事業に関する出資・受注
- etc

海外事業

- アジア地域での不動産開発事業への参画に向け、シンガポールに「SFKG社」を設立
 - インドネシアにおいて海外プロジェクトが始動
 - タイでの住友林業の超高層 Condominium 不動産開発事業において建設技術支援の実施
- etc

- アジア地域を中心とした不動産開発事業の拡大
 - 建設会社とのアライアンス
- etc

周辺事業領域
(ヘルスケア・開発商品販売他)

- 海外からの鉄骨調達サプライチェーンを構築
 - 住友林業の国内外拠点を活用した当社技術開発商品の販路を開拓中
- etc

- 鉄骨建方治具(エースアップ)のリース事業の拡大(増産)
 - 在宅自立歩行支援器(フローラ・テンダー)の販売
- etc

共同研究開発
(新工法・部材・ロボティクス他)

- 木造CLT壁の2時間耐火構造の大臣認定
 - 木造CLT複合壁の遮音性能の大臣認定
 - W350計画実現に向け、技術・研究開発を実施中
 - JAXA と「林業機械システムの自動化による省力化の研究」の共同研究契約を締結
- etc

- 主要構造部(柱・梁・壁・床)の1～3時間耐火構造の大臣認定
 - W350計画実現に向けたW30の実施
 - 林業機械システムの自動化、省力化技術の開発
- etc

15.投資計画の進捗状況

・引き続き投資案件を慎重に吟味しつつ、加速度的に推進中

中計成長投資
600億円規模

現況(～2020.3) 100億円超

今後の投資予定(2020.4～)

国内／海外
アライアンス
230億円

- 木造建築事業の推進にかかるアライアンスを検討中
 - 台湾における不動産開発事業に着手するため「華熊建設」を設立
- etc

- 木造建築関連会社とのアライアンス
 - 海外事業パートナーとのアライアンス
 - その他の国内アライアンス
- etc

再エネ／PFI等
70億円

- 木質バイオマス発電の事業化を検討中
 - 事業主体として太陽光発電事業を開始
 - PPP・道路運営事業への参画に向けて検討中
 - 香港におけるMOM事業の拡大を検討中
- etc

- 木質バイオマス発電事業への参画
 - 太陽光発電事業への参画
 - PPP・道路運営事業への参画
- etc

国内不動産
210億円

- 複数の国内不動産を取得
 - 飯田橋駅東口地区再開発事業の施行に向けて、地権者として勉強会・協議会への参画
- etc

- 国内収益不動産の取得
 - 飯田橋駅東口地区再開発をはじめとする国内再開発事業への参画
- etc

海外不動産
30億円

- 住友林業とアジア地域での不動産開発に共同で取り組むため、シンガポールに合併会社「SFKG社」を設立
 - 住友林業との協業により、インドネシアにおいて不動産開発事業が始動
- etc

- 台湾における不動産開発事業の推進
 - 東南アジア諸国における不動産開発事業の推進
- etc

技術開発等
60億円

- 無人化施工、木造建築（耐火・構造等）、在宅自立歩行支援器（フロラ・テンダー）等の技術開発
 - コッター式継手の販売開始
 - 全社基幹システムの再構築
- etc

- 無人化施工、木造建築（耐火・構造等）、ZEB技術等の技術開発
 - 土木工事にかかる建設機械の開発
 - 全社基幹システムの再構築
- etc

16.新型コロナウイルスの感染拡大による影響

- ・新型コロナウイルス感染拡大は、当社グループにマイナス影響だけでなく、プラス影響もあると予想

■業績への影響

マイナス影響

- 景気後退に伴う民間企業の設備投資の減少
- インバウンド需要縮小に伴う宿泊施設等の新設減少
- 官庁工事における公告、入札の延期
- 追加設計変更交渉等の難航
- 海外工事減少に伴う国内競争の激化
- 工事中断に伴う工程遅延
- 部材の納入遅れによる工程遅延
- 発注者、協力業者の倒産リスクの増加
- 感染症対策に伴うコストの増加

etc

プラス影響

- 景気下支え策としての公共工事の増加
- デフレーションによる工事コストの低下
- 医療、倉庫・流通施設の増設、移転
- 海外における生産拠点の日本回帰や再編に伴う工場等の増設、移転
- 生活・社会インフラの整備
- テレワーク増加に伴う通信インフラの整備
- 行動様式の変容に合わせたリニューアル工事の増加
- 集約型から分散型オフィスへのシフト
- M & Aの進展
- 再開発事業に係る不動産購入コストの低下

etc

※なお当社グループの2021年3月期の業績につきましては、2008年のリーマンショック時と同程度の受注高の落ち込みを想定して、業績予想値を算定しております。

■財政状態の安全性

- 自己資本比率は約40%あり、比較的安全性は高い状況
- 流動比率も150%を超え、現預金も一定割合確保しており、支払能力は高い
- コミットメントライン200億円を設定しており、突発的事態にも対処可能

高める、つくる、そして、支える。



熊谷組

(将来事象に関する注意事項)

本資料に記載されている戦略や計画、数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、経営環境の変化等によって変動する可能性がありますことをご承知おきください。